

私は1982年から4年間日本テレビの「11PM」に出演していました。当時の司会は月曜、金曜が大橋巨泉さん、火曜と木曜が大阪から放送で藤本義一さん、そして水曜日が愛川欽也さん、私のパートナーでした。『美楽』の読者の皆さまなら、1966年から4年間藤本義一さんの初代パートナーを務めていらした祇園の芸妓出身の安藤孝子さん（お孝さま）のことを覚えていらっしゃいますか？お孝さまは元々超人気の祇園の芸妓さん、それがテレビドラマのために三田佳子さんの京都弁の指導をしたことで、日本テレビのプロデューサーにスカウトされ、藤本さんのお相手を務めることになったのです。私とお孝さんは仕事の時期が全く重なっていません（13年間の差）ので、番組で一緒にすることはなかったのですが、記念パーティーなどの行事でご挨拶したことがあります。つまり全く希薄な関係だったわけです。お孝さんはイレブンを辞められた次の年33歳で祇園に会員制の超高級クラブをオープン。テレビに出ていらした当時のイメージはしっかりとした大人の女でしたが20代後半でいらしたんですね。そしてクラブ「安藤」は延々と繁盛し、ご自分のビルも建て、今や知る人ぞ知る京都の顔、女帝？です。

ところが今から9カ月前に突然Facebookにお孝さまから友達申請があったのです。それからは私の様々な活動に対して、すぐに

『京都の女帝!?!——人間79歳になっても色気を保てる』

文 朝倉匠子 text by Shoko Asakura

「いいね」や励ましのメッセージをアップしてくださるような濃い関係になりました。

そして先日久しぶりに京都を訪れ、お孝さまとのご対面を果たしたのです！その前に京都の素敵なところは一見さんでは何かと肩身の狭い思いをされると考え、思い切って東京からお孝さまに電話を入れたところ、何と待ち受け曲は「007」！当時と変わらぬハリのあつ可愛らしい声で「あつ、そこは有名だけど美味しくない、そこは今流行っているけど本物の京都じゃない」とテキパキとアレンジしてくださいました。おかげで京都ではすばらしい待遇を受け、夜の10時すぎに念願の祇園のクラブ「安藤」へ到着。そこには御年79歳とは思えない、全く期待を裏切らない、美しい佇まいの京女「お孝さま」が。お互いハグの連続、超興奮の私です。そして今の私は目指せ「お孝さま」。

人間79歳になっても色気が持っていると確信できました。あゝ、写真でご紹介できないのが残念です。



『35歳からのダイエット革命 (Discover21)』
定価1,404円(税込)
好評発売中



Profile

広島生まれ東京育ち。青山学院文学部英米文学科卒業。
学生時代よりコマースモデルとして活躍、その後テレビ司会者や経済インタビューとして活躍し、渡米。10年間メディア活動を休止。その間カリフォルニア大学で「NPOマネジメント」及び「ジェロントロジー（加齢学）」を学び、「エイジング・スペシャリスト」として再びメディア活動に復帰。「能動的・精神的・美的加齢法」をベースに医療や心理学、社会学等最先端情報と連携しながら、多くの方々と共に年齢を積み重ねることの楽しさ、自信、そして若々しさ、美しさを育てる「アクティブ・エイジング」を提唱する活動を行っている。現在、NPO法人アンチエイジングネットワーク理事、日本抗加齢医学会正会員などで活躍中。